

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3 年	2	必修
担当教員			
後藤 小百合			
A (会計学科)	S (専門科目)	AC (会計)	311 (上級科目)

授業のねらい（概要）	会計実務研究Ⅰの学修をさらに発展させ、会計実務を主体的、合理的に行うとともに、主体的に課題解決に取り組む態度を育てることを目的として、会計実務の諸課題に関する具体的な事例を取り上げて考察する。経営現場が抱えている諸課題について認識したうえで、会計実務の実践現場に出向き、調査活動や情報収集を行うとともに、文献購読や資料分析による結果報告や意見交換を行うことにより、主体的・能動的な能力を養う。なお、会計実務研究Ⅱでは、学生各自の興味に応じたテーマを取り扱う。		
授業計画	第1回	オリエンテーション 会計実務研究Ⅱの学習目的 授業計画の確認 第8章 企業価値とバリュエーション（1） 戦略的な企業評価にむけて 企業を見る投資家の目	
	第2回	予習（時間）：シラバスを読んでおくこと。（120分） 復習（時間）：テキストP. 219からP. 226までを読んで復習をしておくこと。（120分） 第8章 企業価値とバリュエーション（2） 投資プロジェクトの評価	
	第3回	予習（時間）：テキストP. 227からP. 231までを読んでおくこと。（120分） 復習（時間）：選定した企業情報を調べて、まとめておくこと。（120分） 外部講師による講義 スタートアップ（創業支援）における会計実務	
	第4回	予習（時間）：スタートアップ期の創業支援について調べ、質問事項を考えておくこと。（120分） 復習（時間）：授業時の配布資料をもとに、復習をしておくこと。（120分） 第8章 企業価値とバリュエーション（3） 企業価値の評価手法 企業価値評価のフレームワーク 選定企業のサステナブル成長率の算定	
	第5回	予習（時間）：テキストP. 232からP. 242までを読んでおくこと。（120分） 復習（時間）：選定企業のサステナブル成長率について調べておくこと。（120分） 第8章 企業価値とバリュエーション（4） 会計利益による企業評価モデル オプションを活用した企業評価 乗数アプローチによる企業評価 類似企業の評価指標の算定	
	第6回	予習（時間）：テキストP. 243からP. 260までを読んでおくこと。（120分） 復習（時間）：類似企業の評価指数について調べておくこと。（120分） 外部講師による講義 経営改善支援について	
	第7回	予習（時間）：経営改善支援について調べ、質問事項を考えておくこと。（120分） 復習（時間）：授業時の配布資料をもとに、復習をしておくこと。（120分） 第12章 EVAバリュエーション（1） EVAの概念と特徴	
	第8回	予習（時間）：テキストP. 403からP. 406までを読んでおくこと。（120分） 復習（時間）：分析対象企業各社の財務情報一覧表作成を完成しておくこと。（120分） 第12章 EVAバリュエーション（2） NOPATを計算する 資本コストを計算する	
	第9回	予習（時間）：テキストP. 407からP. 424までを読んでおくこと。（120分） 復習（時間）：分析対象企業のNOPATを計算し、一覧表を作成しておくこと。（120分） 第12章 EVAバリュエーション（3） 伝統的な財務諸表分析による評価	
	第10回	予習（時間）：テキストP. 422からP. 423までを読んでおくこと。（120分） 復習（時間）：分析対象企業の財務比率分析を行い、一覧表を作成しておくこと。（120分） 第12章 EVAバリュエーション（4） EVAとMVAによる企業評価 予習（時間）：テキストP. 417からP. 419までを読んでおくこと。（120分）	

	第11回 復習（時間）：分析対象企業のEVAとMVAの比較表を作成しておくこと。（120分） 第12章 EVAバリュエーション（5） 企業経営にEVAを活用する 第12回 予習（時間）：テキストP.425からP.428までを読んでおくこと。（120分） 復習（時間）：分析対象企業の評価視点別に見た各社のポジション一覧表を作成しておくこと。（120分） 各種ワークシートの完成 発表資料および発表原稿の作成 第13回 予習（時間）：今までの作業を確認し、必要な資料を持参すること。（120分） 復習（時間）：発表資料を完成し、発表準備を進める。（120分） 学習成果発表会（1） 第14回 予習（時間）：発表資料を準備し、配布資料を持参すること。（120分） 復習（時間）：発表内容を振り返り、他の人の発表から得た知見を整理する。（120分） 学習成果発表会（2） 第15回 予習（時間）：発表資料を準備し、配布資料を持参すること。（120分） 復習（時間）：発表内容を振り返り、他の人の発表から得た知見を整理する。（120分） 学習成果発表会（3）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	下記のDP2項目を意識した科目である。 【商学部】DP「3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力」を身に付ける。 【会計学科】DP「2. 財務分析を行い、経営改善に関する助言を行える能力」を身に付ける。 【身に付くスキル】 課題解決力・協働力
到達目標	①企業価値評価の必要性を理解し、様々な評価手法についての実践的知識を修得することができる。 ②様々な評価手法を活用するために必要な財務情報を収集し、EVAとMVAによる企業価値評価分析ができる。 ③各自の興味関心に応じて、選定企業の企業価値評価を行うことができる。 ④主体的・合理的に選定企業に関するレポートを作成することができる。 ⑤主体的・能動的にレポート課題や発表資料を作成し、発表することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題の注意点などについては、授業内に解説を行う。 成果発表の内容・方法などについては、授業内に指示を出し、全体に対して解説を行う。
履修上の注意	やむを得ない場合を除き、欠席しない。 なお、外部講師の日程や使用教室の都合により、授業計画は変更される場合があります。
成績評価の方法・基準	①資料作成（ワークシート、発表資料）30% ②資料の作成や授業参加に対する主体的な取り組み20% ③レポート課題30% ④学習成果発表会の発表内容20%
教科書	書名：新・企業価値評価 著者名：伊藤邦雄 ISBN番号：978-4-532-13450-1 出版社：日本経済新聞出版社 価格：4000円 なお、「会計実務研究Ⅰ」で使用した教科書を継続使用します。
参考書・教材	【参考書】必要に応じて授業内で適宜指示します。
備考	講義科目
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）